

島根県青少年赤十字(JRC)活用ガイド(平成29年度版)



* 講師派遣にかかる費用は不要です。

【お問い合わせ】日本赤十字社島根県支部 事業推進課
〒690-0873 松江市内中原町40
TEL0852-21-4237 FAX:0852-31-2411



【学習の機会・活動の提供】

項目		概要
研修	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(メンバー対象)	青少年赤十字のリーダー養成のための宿泊体験研修。子どもたちの自主性を尊重し、子どもたちのリーダーシップを育むことをねらいに、「赤十字について」、「ボランティア学習」、「赤十字救急法」、「レクリエーション」、「国際理解・親善学習」、「活動計画の立て方」など、バラエティーに富んだプログラムが組まれています。(毎年8月開催) ★初任者研修の校外自主研修対象
	青少年赤十字指導者講習会(学校教職員対象)	学校教育で青少年赤十字を活かしていただけるよう、青少年赤十字実践校による事例発表、教材・資料の紹介などの情報を提供させていただきます。 ★初任者研修の校外自主研修対象
交流	メンバー協議会(高等学校メンバー対象)	島根県高等学校青少年赤十字は高等学校文化連盟の1部門であり、メンバーは協議会を設置し、研究発表、情報交換、また全県あるいはブロック毎の活動を展開しています。
	青少年赤十字国際交流事業	赤十字の世界中に広がるネットワークを活かして、海外青少年赤十字メンバーとの交流事業などを行っています。
	赤十字奉仕団との交流	身近な地域でボランティア活動に取り組む奉仕団(地域赤十字奉仕団、青年赤十字奉仕団、特殊奉仕団)と一緒にボランティア活動等に取り組みます。
学習機会・活動 [一般]	青少年赤十字加盟登録式 ※要日程調整	青少年赤十字メンバーとしての自覚を新たにする目的で行う行事です。 (支部からの講師派遣可能)
	平和・人権学習など出前講座 ※要日程調整	赤十字の国際活動、災害救護活動等を『総合的な学習の時間』などで子どもたちに紹介・解説する出張講座
	赤十字施設への訪問活動 ※要日程調整	日本赤十字社の血液事業(島根県赤十字血液センター)、社会福祉事業(松江赤十字乳児院)等についての訪問学習
	海外救援金・国内義援金 募金活動	日本赤十字社では、皆さまからの善意をお預かりし(受付)、国内外の自然災害や紛争に苦しむ人々に役立てています。学校での募金活動がより効果的なものになるよう、機関紙、ニュースレリース、パネル等での情報提供にも努めています。
	年末たすけあい(年末義援金)募金活動	日本赤十字社島根県支部では、県内13の児童福祉施設へ入所している子どもたちに送る募金活動を行っています。(毎年12月)
	青少年赤十字活動資金(1円玉募金)支援	ネパール及びバヌアツの子どもたちへの教育支援(防災減災、災害対応、衛生活動など)をはじめ、青少年赤十字活動の充実のための国際支援活動です。
	献血PR・補助活動	病気やケガによって血液を必要とする皆さまへ安全な血液をお届けするために行う日本赤十字社の血液事業。その血液を確保するための献血の協力を学校内で、また街頭でPRしていきます。
	国内外親善品交換活動(トピックアルバム)	学校や地域の事(活動や文化・伝統等)をアルバム:トピックアルバム(※台紙有)、グリーティングカード(カード有)にまとめ、県内外・国外の学校と相互交換する活動。
学習機会・活動 [健康安全プログラム] [防災スクール]	赤十字救急法講習会 ※要日程調整	突然のケガや病気に際して行う手当ての知識や技術が習得できます。併せてAED(自動体外除細動器)の講習もできます。
	赤十字水上安全法講習会 ※要日程調整	水による事故を防止するための知識と技術、溺れた人を救助するための方法、手当ての方法が習得できます。
	赤十字健康生活支援講習会 ※要日程調整	家庭での看護の方法、病気の予防、高齢者のお世話のしかたなどの知識と技術が習得できます。
	災害時高齢者生活支援講習会 ※要日程調整	近年の災害において被災者に高齢者が多いことから、高齢者の避難所生活に焦点をあてた支援の技術習得が出来ます。
	赤十字幼児安全法講習会 ※要日程調整	幼児期に起こりやすい事故とその予防、子どもの病気と看護のしかた、手当ての方法が習得できます。
	高齢者疑似体験プログラム ※要日程調整	疑似体験装具(ヘッドホン、特殊メガネ、手足の重りなど)を装着することで、加齢による身体的な変化知り、高齢者の気持ちや介護方法などを学びます。
	赤十字防災スクール ※要日程調整	自然災害の知識、非常食炊き出し体験、避難所での生活や非常持出品についてなどを学ぶことができます。避難訓練時の短時間にて講演することも可能です。